

いもち病と穂枯れ、紋枯病

イッカツ

一成分で一括防除

水稻本田用殺菌剤

オリブライト®

1キロ粒剤

250G



特長

いもち病、穂枯れ、紋枯病など多くの病害に高い防除効果を示します。

散布適期幅が広く、使いやすい薬剤です。

速やかに根から吸収され、長い残効があります。

水生生物などに影響が少ない薬です。

250Gは、使いやすい **豆つぶ**® 剤です。
豆つぶが水面に浮いて、速やかに拡散します。



葉いもち



穂いもち



紋枯病



穂枯れ(こま葉枯病菌)

10アール当たり
250g

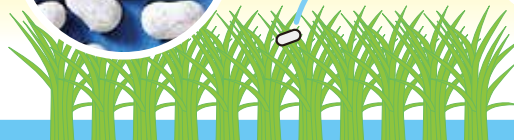
豆まき
感覚の **豆つぶ**® 剤

オリブライト250Gは畦畔から豆まき感覚で散布できる省力型の製剤です。散布後水面に浮いて、有効成分が速やかに拡散します。



実物大写真
(250G)

やや深めの
水深で散布



自然に学び自然を守る



®オリブライトは住商アグロインターナショナル株式会社の登録商標第3169165号
豆つぶ®はクミアイ化学工業株式会社(株)の登録商標

水稲本田用殺菌剤

オリブライト® 1キロ粒剤
250G

1キロ粒剤 農林水産省登録：第20026号
有効成分：メミノストロピン…15.0%
毒性：普通物※

250G 農林水産省登録：第21195号
有効成分：メミノストロピン…60%
毒性：普通物※

※毒劇物に該当しないものを指している通称

■ 適用作物・病害および使用方法

*：本剤およびメミノストロピンを含む農薬の使用回数

製品名	作物名	適用病害名	10アール 当たり 使用量	使用時期	総使用 回数*	使用方法
オリブライト 1キロ粒剤	稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌)	1kg	出穂10日 前まで ただし、 収穫45日 前まで	1回	無人ヘリコプター による散布
		いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 白葉枯病 葉鞘腐敗病 黒しゅ病 墨黒穂病				散布
オリブライト 250G		いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	250g			無人ヘリコプター による散布 散布

2022年6月現在の登録内容

⚠ 使用上の注意事項

- 本剤をいもち病に使用する場合、葉いもちの初発10日前～10日後の散布で、葉いもちに有効であり、また、穂いもちに対する効果も期待できますが、穂いもちの多発が予想される場合には、穂いもち対象剤を併用することが望ましいです。
- 散布に当たっては、湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布し(1キロ粒剤は重複散布を避ける)、散布後少なくとも4～5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させず、散布後7日間は落水およびかけ流しをしないで下さい。
- 本剤の使用により、稲の葉に褐点を生ずる場合がありますので、所定の使用量を厳守するとともに、次の事項を十分注意して下さい。
 - 葉いもちの初発の遅い地域または早生種に対しては、本剤の使用時期のなるべく早い時期(出穂30日前頃まで)に使用することが望ましいです。
 - 急激な温度上昇が起こる気象条件下では、葉に褐点を生じやすいので、フェーン現象等が予想される場合には使用しないで下さい。
- 藻類、表層剥離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、丁寧に散布して下さい(250G)。
- 本剤を使用した水田の田面水を他作物の灌水に用いないで下さい。
- 無人ヘリコプターで散布する場合は、次の注意を守って下さい。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
 - 無人ヘリコプター用粒剤散布装置によって散布して下さい。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい(1キロ粒剤)。
 - 事前に圃場規格に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度、インペラ回転数を調整して下さい(250G)。
 - 周辺部への飛散防止のため、圃場の端から6m以上離して圃場内に散布して下さい(250G)。
 - 畜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい(1キロ粒剤)。
 - 散布薬剤の飛散によって他の動植物等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意して下さい。

○水源池、飲料水などに本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。

○機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄水は河川等に流さず、環境に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

○養魚池、養魚田等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい(1キロ粒剤)。

●散布に使用した器具、容器の洗浄水および空袋等は河川等に流さず、容器、空袋は環境に影響を与えないように適切に処理して下さい。

●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意事項

●誤食等のないように注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には、吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。

●本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。

●散布の際は農作業マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用して下さい。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをして下さい。

●水産動植物(魚類)に影響を及ぼしますので、養魚田では使用しないで下さい。

●無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう十分に注意して下さい。

保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管して下さい。

250Gは吸湿性があるので開封後は早めに使用して下さい。使い残りは、開封口を密封して、湿気が入らないように保管して下さい。

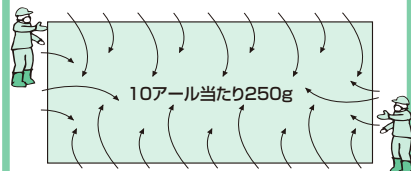
オリブライト250Gの
上手な使い方

本剤は水面浮遊型の自己拡散剤で、優れた水中拡散性を有します。従来の粒剤と違い、水面に浮いたまま崩壊し、速やかに拡散します。



使用方法

ゴム手袋をして、袋から薬剤を一握りすくい取り、投げ入れてください。大型水田では動力散布機でも散布できます。大型水田では背負い式の動力散布機により、水田に入らず畦畔から散布ができます。



投げ入れる間隔の目安(ひとつかみ10gのとき)

	圃場面積	処理辺	散布する 距離	散布 間隔
圃場A	20m×50m 10a	長辺2辺	100m	4m
圃場B	40m×50m 20a	長短4辺	180m	3.6m
圃場C	30m×100m 30a	長辺2辺	200m	2.7m

水管理

散布時はやや深めの湛水状態で止水にして処理し、4～5日は湛水状態を保ってください。

自然減水により田面が露出するようになったら、通常の水深になるまで水を入れて止水にしてください。

詳しい使い方、
登録内容はこちらから

1キロ粒剤



250G



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

2121(22-6)